

# デジタル戦略



**企業価値を向上させる為にデジタルを駆使し、  
更なる成長に向け顧客価値向上・持続的な  
プロセス革新・企業風土改革を牽引します。**

データ利活用のフレームワーク「HAI CoLab(ハイコラボ)※」をベースに、デジタルを活用し、「深化」としてプロセスを変革して競争力を強化、「探索」としてサービスの拡大、働き方改革を推進し、持続的成長に向けた変革を進めます。

※Humans and AI collaborate for digital innovationをもとにした造語で、人とAI(データ・デジタル)との共同研究所という意味合いも込めました。

IT企画本部 本部長 理事 **中村 征希**

## 重点施策

1	「深化」～競争力強化の為のプロセス改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品開発におけるデジタルでの技術伝承と高度化、ものづくりのデジタル化による生産改善活動の拡大</li> <li>● 物流DXの推進と国内販売構造改革による効率化と軽労化</li> </ul>
2	「探索」～顧客価値(サービス)創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>● T.M.Sで培ったノウハウを活用し、タイヤ点検の効率化、ビッグデータを活用した独自の点検サービスの拡大</li> <li>● 実証実験を通して得られた情報をドライバーや様々な事業者へ提供、安心・安全な運行に持続的に貢献</li> </ul>
3	働き方改革推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本社移転を機に迅速な意思決定と個・組織の能力を最大限発揮できる環境を整備</li> <li>● 自動化・効率化・コミュニケーション深化による生産性向上と価値創造へのシフトを実現</li> </ul>

## 2021年12月期における成果と今後の施策(課題)

### 成果

- AIエンジンを搭載したコンパウンド開発・タイヤ開発のシステムを独自に開発し、タイヤ設計での実用を開始しています。
- IoTを活用して生産設備からのデータ収集・分析を開始し、プロセス改善を進めています。
- T.M.S、TPRSの実証実験を通じたデータの蓄積と新たなソリューションへの活用を進めています。
- RPAやワークフロー化、紙削減などにより生産性を向上し、デジタルを活用した働き方への変革を進めています。

### 今後の施策(課題)

- 倉庫管理の仕組みの横展開により国内サプライチェーン内のトレーサビリティを2023年までに実現します。
- AIやIoTなどのデジタル技術を活用し、新たな商品価値の創出を行うとともに、開発スピードのアップやコストの削減を図ります。
- 実証実験で得られた結果をもとに、安全性や経済性に貢献するビジネスモデルの確立とサービス拡充を図ります。
- 本社移転を機に、迅速な意思決定推進とサテライトオフィスやホームオフィス制度への対応を進めていきます。

### TOPIC

#### タイヤマネジメントシステム「T.M.S」

2003年より「T.M.S」のサービスを開始して以来、2022年6月現在で3,000社、延べ30,000台の車両にご活用いただいています。輸送業界の環境変化(軽労化対応など)に伴い、ご活用いただくお客様の数は増加しております。迅速かつ正確な点検実施のため日々改善を進め、当社で長年積み重ねてきたデータを活かしたタイヤ活用の提案も可能となり、安全運行の実現、コスト最適化に加えて環境問題対策にも活用いただいております。

